

《会社 支店のご紹介》

～名古屋支店～



保田支店長

名古屋支店は日本の中心に位置しており、東は東京、西は大阪に挟まれ、以前は重機の手配は東京・大阪にお願いしておりました。

最近では中部地区も建物の高層化に伴い、重機も大型機が必要となっており、技術的に困難な現場にも挑戦しております。

当支店は社員11名(営業4名、工事5名、事務2名)の編成で、場所打ち杭、アンカー工事、回転杭等を営業主体としております。

名古屋地区は現在リニア中央新幹線の駅であるJRゲートタワーの地下ターミナル駅の工事も着々と進んでおり、また北陸新幹線が金沢まで開通し、観光客が増えることを見越して、金沢、富山の開発も進んでおります。

名古屋の特徴といっても、夏は暑く、冬は寒い、名産品はこれというものはありませんが最近では世界に誇れるトヨタ、東海道新幹線を運営するJR東海といった技術に優れた企業がある都市となっております。

当支店も平成23年に名古屋駅近辺某現場において、試験用の杭(φ1.0m、掘削長74m、Fc60N/mm²)、小口径による大深度かつ高強度コンクリート杭の施工を行いました。施工にあたりトラブルはありましたが技術的に評価をいただきました。

今後も名鉄百貨店、栄地区再開発などの計画があり、名古屋も偉大なる田舎から一変する日も近いと思っております。

ミッドランドスクエア(トヨタ本社)より見た名古屋駅前再開発風景



～大阪支店～

大阪支店は会社設立10周年を記念して昭和34年に大阪営業所として開設され、56周年を迎えます。

当支店は社員19名(営業5名、工事9名、技術2名、枚方機材センター1名、庶務2名)の編成です。関西出身者が11名いますがバリバリの関西弁は飛び交っておりません。

これまで関西、四国地方で場所打ち杭と回転杭等の施工に携わってまいりました。

平成元年に生命保険ビルで構真柱(逆打ち支柱)杭を他社に先駆けて施工し、平成5年にスポーツセンターの斜杭、平成20年にアースドリル工法で86mの大深度杭、平成24年には掘削径φ4.6mの杭を築造し技術的に評価をいただきました。

そして今年からは昨年評定を受けた在来工法に比べ高支持力・高引抜耐力を得ることが出来るMe-A工法の施工を行っております。

オリンピック開催地の東京やリニア関連に湧く名古屋に比べて話題性の乏しい現状ですが、JR大阪駅周辺地域のうめきた地区2期(写真)のまちづくり推進が決定しました。

また阪神百貨店の現地での建替えに伴う一部解体工事も始まりました。

かつて元禄時代には繁栄の頂点に達し川沿いに米蔵が建ち並び、上方文化が栄えた大坂のように輝けるまちに再び発展することに期待し、一端を担えるよう取り組んでまいります。



中川支店長

